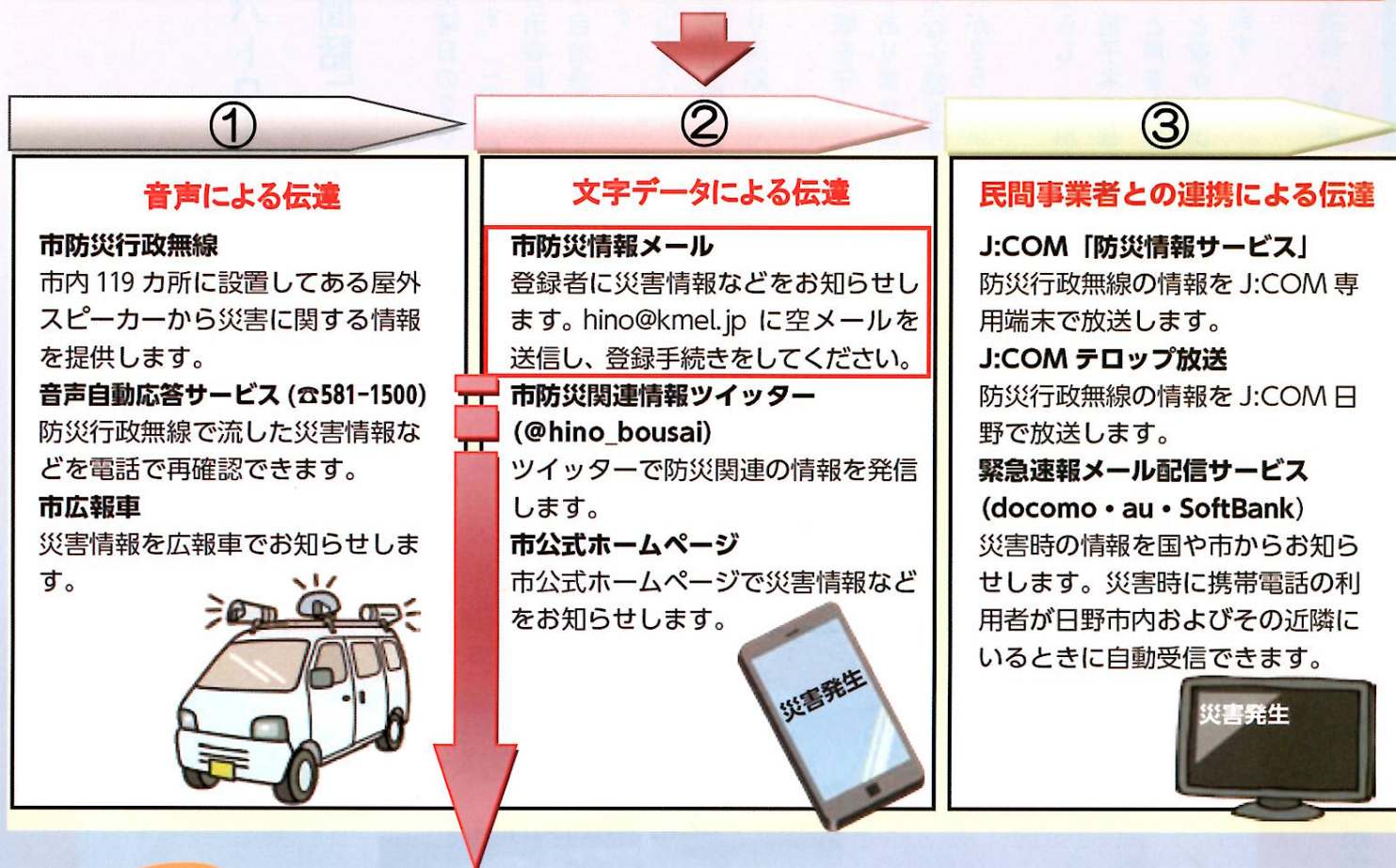


災害時等の市からの情報発信について

【市からの情報伝達手段～ご確認ください】

災害等の際に、市民の皆様へ「正確な情報」を「迅速」にお伝えするために市では下記の情報伝達方法を整備しています。

今一度ご確認ください、いざという時に備えましょう。

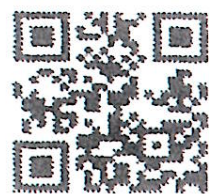


お願い

市では様々な手段で市民の皆様へ情報発信を行いますが、音声による伝達は限界があるため、「市防災情報メール」の活用を推進しています。

市防災情報メールはお持ちの携帯電話に直接メール配信されるため、市からの情報を正確かつ迅速にお伝え出来ます。是非、hino@kmel.jp に空メールを送信し、登録手続きをお願いします。

バーコードリーダー付きの携帯の方はQRコードを読み取ってそのまま送信してください。



※注意事項

日野市メール配信サービスは、下記のアドレスから送信します。
mail-haisin@city.hino.lg.jp

※ 迷惑メールの受信拒否等の設定をしていると、確認メールが受け取れない場合があります。なお、携帯電話の受信機能についてご不明な点がございましたら、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

問合せ先 日野市防災安全課 042-585-1100

地域から版

七生中地区版

H28年
通算第20号

七生中地区内の地域情報誌『地域かわら版』

■発行日／平成 28 年 11 月

■発行・編集／日野市企画部地域協働課

〒191-0011 日野市日野本町 1-6-2

■電話／042-581-4112



▲ 防犯パトロール中の松ヶ丘自治会のみなさま

特集 ▶ 「防犯活動」で生まれたつながり



七生中アクションプラン「ななお BON まつり」が開催されました！

地域の課題を地域の人々で解決するためのアクションプラン。七生中地区のアクションプランは、「ななお BON まつり～秋の陣～」です。地域のつながり創出を目的に、かつて七生の地域をつないでいた「盆踊り祭」を新しい形で復活させようと、10月22日(土)に南平体育館にて「ななお BON まつり～秋の陣～」開催しました。

当日は 26 団体による出店と、770 名(プログラム配布数)の来場者があり、老若男女が AKB48 の「恋するフォーチュンクッキー」盆踊りバージョンを踊る姿は、圧巻でした。



25年続く防犯パトロール

秘訣は「世間話」

松ヶ丘自治会では、第2・第4土曜日の20時から自治会区域内の防犯パトロールを行っています。この活動は約25年前、自治会有志でパトロールを始め、自治会員の家に泥棒が入ったことをきっかけに、平成16年度に自治会の正式な活動としてまちを守ろうとスタートしたものです。

毎月2回歩いていると、「ここの花が咲いた」「ここに自転車が置いてある」等のまちの変化がわかると同時に、「あの一人暮らしの方は大丈夫だろうか」と見守り活動にもなっており、意義あることと感じています。

ただ、私たちは、肩ひじ張って地域を守っていこうというような義務感で実施しているわけではありません。参加者たちに25年続いた秘訣を尋ねると、「みんなと話をするのが楽しいから」と、一同に答えています。これが25年以上続いている秘訣と想っています。

パトロール中には拍子木と鐘を鳴らし、自治会内の商店にも顔を出して、挨拶の機会にしたり、拍子木の音を聞いた自治会員が表に出てきて「ご苦労様です」と声をかけてもらったり、子どもたちが拍子木を「叩かせて」と家から出てきたり、そんなコミュニケーションも楽しんでいます。

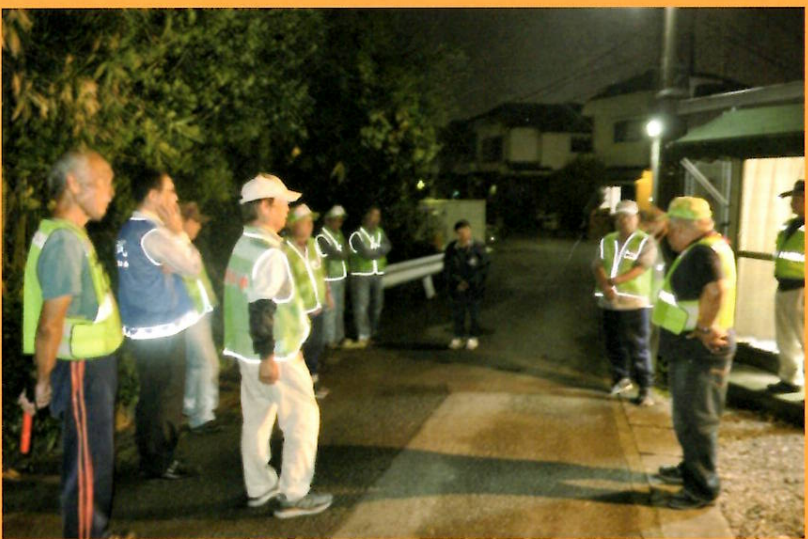
(文：松ヶ丘自治会 会長 熊谷 久孝)



▲防犯パトロールの様子



▲防犯パトロール必需品



▲防犯パトロール前のミーティング

防犯活動から生まれたつながり

平成26年度・27年度の地域懇談会で、七生中地区の地域課題として「防犯力の向上」が多く挙げられていました。防犯活動をきっかけに、地域内のつながりを育てている事例を紹介します。



▲防犯カメラ設置起動式の様子

みなみが丘自治会

防犯カメラ導入をきっかけに重ねた話し合い

「犯罪のない街で安心して暮らしたい」誰もが願う生活の基盤です。「安心の確保」には、家庭ごとに防犯対策を強化することが基本ですが、合わせて、街全体として「犯罪被害が起きにくい街づくり」への取り組みが極めて重要です。まさに自治会活動に負託された大きなテーマです。

みなみが丘自治会では、従来から自治会が主導して、各家庭には、施錠の徹底・二重化や死角を減らすための庭木の剪定等を、街全体では、挨拶励行や50人のボランティアによる防犯パトロールや子供会と一緒の夜回り等、防犯対策には特に力を注いできました。ところが、不幸にも昨年数件の犯罪被害が発生してしまいました。

そこで、みなみが丘自治会では、自治会内で話し合いを重ね、平成28年9月22日(秋分の日)から、全体の防犯力を大きく向上させる「切り札」として防犯カメラの導入を開始しました。(当日は日野警察署、日野市役所、日野防犯協会、近隣自治会様方に「列席頂き、防犯カメラ設置起動式を行いました」この日から、住宅街に通じる車・人の進入路ほとんどは、24時間絶え間なくカメラが視ている環境になりました。「防犯カメラに守られた街」のスタートです。

導入の際の話し合いにあたっては、住民の皆様の中には、映像の漏洩や宅地内(洗濯物等)が写る等プライバシー保護の観点からの心配もありましたが「みなみが丘防犯カメラ管理運用規程」を新たに定め、将来にわたって継続的に適正に管理できる体制を整え、宅地内の映像は削除する等、安心頂ける仕組みづくりに努めました。

カメラ設置も大きな成果ですが、一番の成果は、カメラ導入をきっかけに、住民の防犯意識が一層高まり、そのことについて話し合いを重ねたことと思います。カメラ効果を最大限に発揮するためにも、以前より行っている防犯パトロールや子供会との夜回り等の日頃の防犯活動を継続、更に前進し「本当に安心の街」になることを住民一同心一つにし、活動していきます。

(文：みなみが丘自治会 会長 伊藤 仁)